

第8回 新沖縄発展戦略有識者チーム会議

①日時：令和2年2月7日（金）14：00～16：00

②場所：県庁6階第1特別会議室

③参加者：

有識者チーム メンバー	池宮城秀正	明治大学名誉教授 元沖縄県政策参与
	前村昌健	沖縄国際大学教授
	上妻毅	(一社)ニュー・パブリック・ワークス代表理事
部局連携員	下地正之	土木建築部 参事監
	伊集直哉	商工労働部 産業雇用統括監
事務局	企画部 企画調整課	
	(株)おきぎん経済研究所	
	ブルームーンパートナーズ(株)	

④議題等：

(報告事項)
1 前回会議の議事概要、論点について
2 有識者インタビュー調査報告について
(議題)
2 新沖縄発展戦略：新たな沖縄振興計画に向けた提言（素案）について ・各委員のコメント
3 提言に向けた個別の論点について ・各委員の発表事項
4 今後のスケジュール等について（事務局）

⑤議事概要（主な意見等）：

事務局より、新たな沖縄振興計画に向けた提言（素案）の進捗状況について報告を行った。各委員からは、申し送り事項に関する各テーマについて、提案、意見等が挙げられた。

主な意見等は下記のとおり。

- シームレスな陸上交通体系の整備については、体系的な幹線道路のネットワーク構築・整備により、渋滞対策に寄与していくことが重要である。
- 空港の機能強化について、新型感染症の侵入・感染拡大防止のための水際対策を含め、国際空港として検疫機能の強化を図るとともに、各種のセキュリティ対策の強化、高度な危機管理体制の構築が必要である。
- ユニバーサルツーリズムについては、世界水準の観光リゾートに求められる条件整備の一環として、また、高ニーズへの対応、市場開拓、SDGsとの関わりなど、多角的、多義的に色々な意味合いを持つことから非常に重要だと考えている。
- 人材育成について、教育機会の公平性が重要である。同程度の能力の人材に対する水平的な公平と、能力の異なる人材に対応する垂直的な公平の両面から考える必要がある。
- 新技術・イノベーションへの対応について、今後、本県において中長期的な経済発展を図るためには、様々な社会課題の解決や経済成長に繋げる Society 5.0 の実現が求められており、沖縄型 Society 5.0 の検討が必要である。